

## 令和5年度 横浜市泉区社会福祉協議会 事業方針

近年の少子高齢化や人口減少に加え長期化した新型コロナウイルスの影響は、地域のつながりの希薄化や支え合う力を低下させるとともに、地域社会の担い手減少により、助け合いや見守り活動を困難にしました。

一方で、こうした社会の変化が8050問題やヤングケアラーなどひきこもり、孤立、虐待、貧困などの多くの課題をより顕在化させました。

泉区社会福祉協議会は、地域全体が抱える課題やひとりひとりが感じる生活のしづらさや困りごとなど、制度の狭間にある課題に目を向け、住民同士の緩やかなつながりと支え合いを基本に誰もが居場所や役割のある地域づくりをすすめます。

顕在化した課題に取り組むため、必要な人に情報が届くよう効果的な広報を工夫するとともに多くの人々が地域活動に参加できる機会を設け、新たな担い手の発掘と育成を行います。

また、住民にとって一番身近な地区社会福祉協議会（以下、地区社協）が交流や通いの場づくりを継続的に進められるよう、それぞれの取組・工夫を共有し、活動が発展するよう支援します。

本会の会員であるさまざまな組織や団体が連携・協働を深め、それぞれが持つ機能・役割を活かして、地域課題の解決に向けた取組を進めます。

「互いに助け合う！誰もが安心して暮らせるまち泉」を基本理念とした第4期泉区地域福祉保健計画「泉わくわくプラン」が3年目を迎えます。

地域包括ケアとの連動のもとに計画の実効性を高め、目指す地域の実現に向けて事業を展開するとともに各地区の「地区別計画」の推進に向けた支援を進めます。

### 【重点取組】

#### 1 自分らしく生きるための支援の推進

住み慣れた地域で自分らしく暮らすため、援助を必要とする高齢者や障がい者が安心して日常生活が送れるよう支援します。

また、サービスを提供する担い手の育成や障がい者理解の働きかけを進めます。

#### 2 元気でいるための支援の充実

ライフステージにあわせた健康づくりの普及啓発を進めます。

地区社協をはじめ各種団体の活動が活発に継続できるよう支援するとともに、新たな活動の立ち上げを支援します。

#### 3 地域の安全をみんなで考える

区内の災害に備えたネットワークの充実と新たなコーディネートシステムを活用し「災害ボランティアセンター」の体制強化を図ります。

#### **4 相談しやすい仕組みづくり**

区社会福祉協議会（以下、区社協）が持つ機能（ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター、生活福祉資金貸付支援、助成金・地域活動支援）が横断的に連携し、「断らない相談支援」に努めます。

#### **5 困りごとを支援につなげることができる人を増やす**

地区社協や地区民生委員児童委員協議会（以下、地区民児協）、子育て支援者等と連携し、地域の困りごとを必要な支援につなげる支援者を増やします。

#### **6 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える**

身近な地域で住民同士の「支え合い活動の創出・継続・発展」に向けた支援や「交流・居場所」「生活支援」「見守り・つながり」づくりを進めます。

#### **7 参加する人を増やす**

地域活動に参加するきっかけ作りとして、地域情報や活動に関する情報をさまざまな媒体を活用して発信します。地域活動に参加する人を増やします。

#### **8 担い手を増やす**

さまざまな人が地域活動に参加できるような機会を増やし、地域の福祉活動の担い手の発掘や育成に努めます。

また、地域、学校、企業等に向けて参加のきっかけづくりができるよう各種ボランティア講座を開催します。

#### **9 つながる機会を作る**

さまざまな施設、団体や企業が参画でき、多くの人との交流の輪が広がる機会をつくれます。

#### **10 事業推進に向けた組織運営の充実・基盤強化をはかる**

区社協の取組を積極的に周知するとともに事業の透明性を確保し、区民の期待や信頼に応えます。

新しい生活様式の導入に鑑み業務の見直し、効率化に努めます。

## ■事業計画

この事業計画は、前述の事業方針と重点取組に基づいて、第4期泉区地域福祉保健計画推進の柱及び重点項目に連動させ策定しています。

また、主な事業の予算額を表示（令和5年度予算額[令和4年度予算額]）しています。

取組にあたっては、本会の強みである会員組織としてのネットワークを活かし、関係団体・機関の連携を促進します。

### 1 いつまでも健やかに暮らせる地域づくりを支援する

#### 重点項目1-1 自分らしく生きるための支援を進める

##### 《個人の権利と尊厳を守るための仕組みづくり》

##### (1) 認知症に対する正しい理解と見守り活動の推進

認知症になっても安心して自分らしく暮らせることができる地域の実現を目指し、認知症の正しい理解を広げ、支援する担い手を増やします。

##### 【取組事項】

- ① 「泉区認知症サポーター」登録推進事業への協力
- ② 「泉区認知症キャラバンメイト連絡会」への参画と協力支援
- ③ 「チームオレンジ」の推進支援を通じた認知症の人が自分らしく安心して暮らせる地域づくりの推進
- ④ 認知症カフェ・介護者の会等の活動支援及び必要な居場所づくりの推進

##### (2) 権利擁護事業（あんしんセンター）

（市社協受託金）（利用料収入） 313千円 [312千円]

高齢者や障がい者の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるよう相談・契約によるサービスを行います。また、判断能力の低下に伴い成年後見人に速やかに移行できるように区や地域包括支援センター、障害関係相談機関と協力し、泉区成年後見サポートネットや社会福祉士連絡会の場等を利用して連携を図ります。また、市民後見サポートネットを開催し、横浜市市民後見人バンク登録者（泉区登録者）との連携を進めます。

	R2実績	R3実績	R4見込	R5見込
権利擁護事業契約件数（件）	47	38	48	53
*当年度新規契約件数（件）	10	5	20	15
*権利擁護から成年後見への移行（件）	2	4	2	4
*成年後見に関する相談件数（件）	15	8	10	12

\*評価指標 権利擁護事業新規契約件数：増加  
権利擁護事業から成年後見への移行：増加  
成年後見に関する相談件数：継続

##### 《サポートが必要な方々の理解と支援の推進》

##### (1) 移動情報センター事業 （市社協受託金）（市補助金）9,560千円 [9,643千円]

障がい児者の通学通所や通院、余暇活動等外出機会の移動手段に関する情報収集・発信、相談調整、人材発掘・育成を行います。また、事業を通じて把握した障がい児者の

困りごとを地域住民と共有し、障がい児者やその家族が安心して暮らせる地域づくりを進めます。

**【取組事項】**

- ① 推進会議の開催
- ② 区内ガイドヘルパー事業所間連携を進め事業に関わる課題の共有と検討
- ③ ガイドボランティア講座の開催及びボランティアの確保・養成
  - ア 他事業との連携をさらに図り、ガイドボランティアを拡充します。また、登録者や関心のある方を対象に、講座を開催します。
  - イ ガイドボランティアが安心して活動できるようフォローアップします。
- ④ 地区担当職員と連携した地域で暮らす障がいのある人の困りごとに寄り添う地域づくりの推進
- ⑤ 自治会町内会、地区社協等関係団体へのPR活動の推進
- ⑥ 泉区障害福祉自立支援協議会、後見的支援室等関係機関との連携による「断らない相談支援」の推進
- ⑦ 障がい児者やその家族の思いに寄り添った相談支援スキルを向上させるための職員内部研修を開催

	R2実績	R3実績	R4見込	R5見込
*ガイドボランティア登録者数(人)	41	37	39	45

\*評価指標 ガイドボランティア登録者数：増加

**(2) サポートが必要な人への理解の推進** (共同募金) 171千円 [211千円]

**【取組事項】**

- ① 「障害者週間」や区内の施設や団体などの活動について周知するため、また障がい者への理解・啓発の推進のために泉区福祉の作品展を開催
- ② 障がい理解・啓発を目的に、区内施設等の利用者やその家族、職員と協力し、セイフティーネットプロジェクト横浜出前講座を実施
- ③ その他

障害者地域作業所等通所者の社会参加を促進するため、広報紙の一部配付業務を障害者地域作業所等へ委託します。また、地域にある障害者地域作業所等の取組が区民に広く伝わるよう、ホームページの活用など啓発にかかわる支援を行います。

	R2実績	R3実績	R4見込	R5見込
*ボランティア講座実施回数(回)	4	中止	3	5
*同参加者数(人)	62	中止	58	100

\*評価指標 障がい理解・担い手育成のためのボランティア講座実施回数・参加者数：増加  
(出前講座含む)

**重点項目1-2 元気でいるための支援を充実させる**

《介護予防・健康づくりの推進》

- (1) それぞれの年代に応じた健康づくり

いつまでも健康な生活をおくることができるよう、健康づくりの取組を進めます。

**【取組事項】**

- ① 地域で行われる高齢者食事会、サロンやウォーキング事業等を実施する団体への支援と新規グループの立ち上げの支援
- ② ふれあい助成金（健康増進区分）を活用して自治会町内会やボランティアグループ等が実施する健康づくり・介護予防活動を支援
- ③ 横浜市で展開している地域活動や地域サービスの検索サイト「ふくしらべ」や「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」を通じた区内外の健康づくりに関係する情報発信

	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込
*ふれあい助成金（健康増進区分）活動団体数	15	12	14	17

\*評価指標 ふれあい助成金（健康増進区分）による活動団体数：増加

**重点項目 1－3 地域の安全をみんなで考える**

《安心・安全に暮らせる環境の整備と推進》

(1) 災害対策の充実・強化 (市社協補助金) 80 千円 [80 千円]

災害時への備えを通じて平常時から互いに支え合える地域づくりを進めます。また、泉区災害ボランティアセンターの機能が充分果たせるよう、泉区災害ボランティア連絡会や関係機関・団体との協力体制を構築し、災害時に備えたネットワークづくりと啓発活動に努めます。

**【取組事項】**

- ① 全市的に進めている ICT を活用した災害時情報共有システムを柱とする、災害ボランティアセンターの円滑な運営体制の検討
- ② 泉区災害ボランティア連絡会の運営・活動支援
  - ア 連絡会運営強化のため、運営委員会の定例開催
  - イ 連絡会会員をさらに拡充するため、関係機関への啓発
  - ウ 連絡会の活動を支援するための助成金交付
- ③ 泉区災害ボランティア連絡会などの関係機関と協力し、区民まつりへの参加等各種イベントにおける災害ボランティアセンターのPRや防災減災に関する啓発活動の実施
- ④ 横浜災害ボランティアネットワーク等の他地域の関連機関との連携
- ⑤ 災害時に備えた地域防災拠点など関係機関・団体とのネットワークの強化
- ⑥ 災害ボランティアセンター立ち上げに備えた備蓄品や資機材の整備

**2 人やさまざまな活動でのつながりや交流が進む地域づくりを支援する**

**重点項目 2－1 相談しやすい仕組みを整える**

《断らない相談支援の推進》

区社協では、事業ごとに相談窓口を設置しています。それぞれの役割・機能を活かし、地域の様々な相談を受け止めます。相談内容によっては、区社協内の相談窓



口同士が連携し、他の専門機関につなぐなど一体的な対応をします。

継続的なかかわりが必要な場合は、相談者にとって身近な地域内の多様な主体とも連携し、新たな生活課題への対応を含め「地域共生社会」の実現を目指します。

また、ホームページ、リーフレットや掲示板等で、相談対応内容など情報提供を行っていきます。

本会の相談窓口

- ・ 泉区ボランティアセンター
- ・ 泉区社協あんしんセンター
- ・ 泉区移動情報センター
- ・ 生活福祉資金貸付相談
- ・ 善意銀行寄付相談
- ・ 泉区福祉保健活動拠点利用相談
- ・ その他 地域福祉活動全般に関する相談

## **重点項目 2-2 困りごとを支援につなぐことができる人を増やす**

《支援者のスキルアップ・対応力向上》

(1) 地区社協活動の支援

(市社協補助金) (賛助会費) (共同募金) 5,844千円 [6,280千円]

身近な地域のつながり・支えあい推進事業を進めながら、地域支援方針や地区社協のてびきに基づき、地区社協の目的である「一人ひとりの困りごとを解決できる地域づくり」を推進できるよう支援します。引き続き、地区社協が交流や通いの場づくりを継続的に進められるよう、それぞれの工夫を共有し、活動が発展するよう支援に取り組めます。また、各地区に担当職員を置き、地区社協の運営や事業の実施等を支援します。

【取組事項】

- ① 地区社協分科会の定例開催 (隔月開催)
- ② 区域の地区社協研修の開催
- ③ 地区研修の開催支援
- ④ 地域アセスメント、地区診断、地区社協状況書の作成支援の実施
- ⑤ 「泉わくわくプラン」地区別計画に連動した地区社協活動の推進
- ⑥ 区社協賛助会費への理解推進
- ⑦ 地区社協活動の広報活動
- ⑧ 地区社協活動費の交付
- ⑨ 市域情報の発信、情報共有と検討

(2) 民生委員・児童委員との連携

地域における身近な相談役である民生委員・児童委員、主任児童委員とともに、地域の課題解決に向けた取組を進めます。民生委員児童委員分科会の開催や、地区民児協定例会への参加により、地域福祉推進のパートナーとしての連携を深めます。

また、民生委員・児童委員活動に活かしていただけるように相談傾向等の情報発信を行います。

(3) 生活困窮者自立支援施策への対応 (県社協受託金) 3,156千円 [3,154千円]

生活困窮者自立支援法において、生活福祉資金貸付事業や総合相談、区生活支援課との連携を通して支援に取り組めます。また、新型コロナウイルス感染症等の影響により生

活に困窮した世帯や償還への指導など借受世帯への全般的な相談に対し、関係機関や民生委員・児童委員と連携しながら支援していきます。

#### 【取組事項】

##### ① 生活福祉資金貸付事業相談

貸付の種類 総合支援資金、臨時特例つなぎ資金、緊急小口資金、福祉資金（教育支援資金等）、不動産担保型生活資金、その他

教育支援資金等の概要や相談傾向を、泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会において共有し、個別の課題を支援する存在を増やします。

##### ② 食糧支援

生活困窮者や緊急的に食糧支援が必要な方に対しては、区と情報共有し、株式会社セブン・イレブン・ジャパン（以下、セブンイレブン）やフードバンクかながわ等と連携して自立に向けた支援を実施します。

## 重点項目 2－3 一人ひとりに寄り添った支援から地域の課題を考える

### 《地域課題の抽出と課題解決に向けた取組の検討》

#### （１）身近な地域のつながり・支えあい推進事業（共同募金） 50千円 [50千円]

様々な生活課題を抱えている地域住民に寄り添い、地域活動者・福祉保健関係者や多様な主体とより連携し、つながりや支えあいづくりを推進します。

#### 【取組事項】

- ① 区内の住民同士の助け合い活動団体の立ち上げ支援を推進し、団体同士の連携体制を進め、担い手育成や地域での見守り体制の構築を推進
- ② 子ども食堂等の組織間連携を進め、課題の共有や解決に向けた取組の推進
- ③ 区・包括カンファレンス等への参画し、個別・地域課題の継続的な把握を行いながら課題を抱えた住民と地域とのつながりづくりを推進
- ④ コロナ禍で実践してきた新たな見守り活動や交流のさらなる推進
- ⑤ 地区社協のてびき研修の内容を地域住民や関係機関と共に理解を深め、一人ひとりの困りごとを地域で受け止めながら解決を目指せる地域づくりを推進

#### （２）生活支援体制整備事業（市社協受託金） 200千円 [200千円]

高齢者の生活支援・介護予防の充実のため、区、地域ケアプラザ、地区社協、自治会町内会、ボランティア団体、施設や企業など、多様な主体との連携により、担い手の発掘と育成や新たな活動を創出します。また、地域包括ケアシステム構築に向け「泉区アクションプラン」とも一体的に推進していきます。

#### 【取組事項】

- ① 区と協働して区レベル協議体（支えあいの仕組みづくりを進める会議）の開催や各地域ケアプラザの協議体の開催に向けた支援
- ② 第2層生活支援コーディネーター連絡会を開催し、状況に応じてオンラインでの会議・研修を取り入れながら各エリアの状況把握と全区的な取組課題の検討
- ③ 横浜市で展開している地域活動や地域サービスの検索サイト「ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」や「ふくしらべ」を通じた区内外の健康づくりに関係する情報発信

#### 【再掲】

- ④ 地域に密着したニーズを把握し、必要なインフォーマルサービスの創出と活用の推進
- ⑤ 地域活動に取組む団体等をフォローするための研修会を開催
- ⑥ 地域貢献事業「泉サポートプロジェクト」に対し、企業やNPO法人等も含めた多様な主体との連携による推進に向けた支援

### (3) 泉サポートプロジェクトの推進

(共同募金) 155 千円 [0 千円]

福祉施設や企業等が連携し、地域貢献の一環として地域ニーズを支援する取組を推進します。そのために、区域及び各エリア別に取組を集約し、課題解決に向けた検討を進めます。

#### 【取組事項】

- ① 施設や企業、地域住民に対する取組の啓発
- ② 地域における困りごと等ニーズの発掘
- ③ 地域ニーズに対応するため、登録団体の拡充
- ④ 専門領域の関係団体との連携
- ⑤ エリア別の取組の推進に向けた支援
- ⑥ 取組の推進に向けた登録団体の代表者による検討会を開催
- ⑦ 検討会で議論された内容等を登録団体や関係者と共有し、区域での取組を推進するための全体会を開催

	R2 実績	R3 実績	R4 見込	R5 見込
* 泉サポートプロジェクト参画施設・企業による活動数	38	39	45	50

\* 評価指標 泉サポートプロジェクト参画施設・企業による活動数：増加

## 3 地域活動への参加が活発になる地域づくりを支援する

### 重点項目 3-1 参加する人を増やす

#### 《地域活動に参加するきっかけ作り》

##### (1) 地域情報や活動に関する情報発信

広報媒体や内容に応じて事業間での連携を図り、効果的な情報発信を行います。

#### 【取組事項】

- ① 「区社協だより泉」の発行（年4回）  
(賛助会費) (共同募金) (区指定管理料) 2,190 千円 [1,960 千円]  
地域住民が自分たちの暮らすまちに関心を持つきっかけとなるよう、地区社協やボランティア団体の活動、区社協の事業などの情報を発信します。タウン紙の活用や障害者地域作業所等への配付業務委託を行います。
- ② ボランティア向け情報「キラぼら泉」の発行（年4回）  
地域で活動しているボランティアについて紹介し、ボランティア活動の促進につなげます。
- ③ 「ボランティアセンター通信かわら版」の発行（年2回）  
ボランティア講座やボランティア募集、ボランティア活動について掲載し、区内のボランティア活動の活性化につなげます。
- ④ 区社協ホームページの活用  
(指定管理料・賛助会費・共同募金等) 321 千円 [321 千円]  
地域情報や活動に関する情報を広く発信できるよう、区社協ホームページを積極的に活用します。また、誰もが情報にアクセスしやすく利用しやすいホームページづくりをすすめます。



- ⑤ 移動情報センター通信の発行（年1回）
- ⑥ 泉区民ふれあいまつり等に参加し、区民への啓発活動

**（2）第37回泉区社会福祉大会の開催**（共同募金）508千円〔466千円〕  
福祉活動功労者に対する顕彰及び「泉わくわくプラン」の周知をはじめとした区民への福祉啓発事業を実施します。

**（3）善意銀行**  
区民の皆様からの寄付金や物品をお預かりし、区内の施設・ボランティア団体に配分します。

### 重点項目3-2 担い手を増やす

《活動を継続していくための支援》《新たな担い手の発掘・育成》

**（1）ボランティアセンターの運営**（区指定管理料）904千円〔904千円〕  
ボランティアや地域住民の活動に関する様々な相談に応じ、地域福祉活動を担う人材確保・育成のため、テーマ別・対象別などのボランティア講座を移動情報センター等他事業や他機関と連携し実施します。また、活動の継続のために既存のボランティアのニーズを把握し、それに合わせたフォローアップを行います。

これからの地域を担う学生が地域や福祉について知り、考え、主体的に地域活動に参加できる機会づくりに取組みます。

#### 【取組事項】

- ① ボランティア講座の開催及び活動支援
  - ア ボランティア入門講座の開催
  - イ 学生のためのボランティア講座の開催
  - ウ 関係機関等とのボランティア活動分野別、エリア別講座の開催
  - エ 住民同士の助け合い活動の支援
  - オ ガイドボランティア講座の開催
  - カ ボランティア団体の担い手養成講座の開催支援
  - キ 施設や団体等のボランティア受入れにかかわる方の支援
- ② ボランティア相談の実施
  - ア ボランティア登録の相談・受付
  - イ ボランティア保険の受付

	R2 実績	R3 実績	R4 見込	R5 見込
* ボランティア講座実施回数 (回)	4	9	9	14
* 同 参加者数 (人)	69	36	38	50

\*評価指標 各種ボランティア講座の実施回数・参加者数：増加

#### （2）担い手と地域活動のコーディネート

ボランティアセンターにおいては区民からの相談に対して、ボランティア団体、施設等のネットワーク機能を活かしニーズに合った活動を紹介します。また、担い手が地域の活動と結びつくよう、企業・NPO 法人・学校等と地域との関係性を構築し、活動機会の拡充・活動への参加促進を図ります。障がいがある方への社会参加についても、関係機関と連携し支援していきます。

地域への情報の共有やニーズの把握は、ボランティアセンター・地区担当職員が連携しながら取組めます。

**【取組事項】**

- ① ボランティア相談・コーディネートの実施、ボランティアの活動支援
- ② 地区担当職員と情報を共有するために、エリアごとに登録者やケースの情報を整理
- ③ ボランティア情報の定期的な発信、ボランティア登録者へのアプローチ
- ④ 「人財バンク」の情報更新（区民活動支援センターとの協働事業）

**(3) 活動継続のための支援** (共同募金) 100 千円[100 千円]

ボランティア活動継続のために各種情報提供や、ボランティア・団体間の交流やつながりを支援します。

**【取組事項】**

- ① 泉区ボランティアネットワークの運営・活動支援
  - ア 泉区ボランティアネットワーク運営委員会の定例開催支援
  - イ 泉区ボランティアネットワーク各部会の開催支援
  - ウ 泉区ボランティアフォーラムの開催支援
  - エ 泉区ボランティアネットワークの活動を支援するため、助成金を交付

**(4) 泉区福祉保健活動拠点「泉ふれあいホーム」の運営**

(区指定管理料・利用料収入等) 17,362 千円[16,891 千円]

世代や障がいの有無に関わらず市民の自主的な福祉保健活動に「活動の場」を提供することにより、福祉活動の推進を図ります。また、利用団体相互の交流や情報の提供を積極的に行い、単なる活動の場の提供にとどまらない「福祉活動の裾野を広げる」ことを目的とした福祉保健活動拠点の運営に努めます。そして、より多くの方に福祉保健活動に関心をもってもらうため、ボランティアセンター事業としてボランティア講座を行うなど工夫しながら取組めます。

[指定管理期間：R3.4.1～R8.3.31]

	R2 実績	R3 実績	R4 見込	R5 見込
登録団体件数 (件)	237	242	241	251
利用実績 (延べ件数)	1,115	1,780	2,000	2,200

**【取組事項】**

- ① 窓口や電話での相談、利用登録団体懇談会、利用者アンケートの実施などを通じて、利用者のニーズの把握に努め、拠点やボランティアセンターの運営に反映
- ② ホームページによる福祉保健活動拠点の情報発信、情報提供
- ③ 夜間及び土日祝日の稼働率向上を目的とした広報活動の実施
- ④ ボランティア講座や研修会を実施し、人材発掘を推進
- ⑤ 開かれた施設を目指し、指定管理者第三者評価を受審

**(5) 泉ふれあい助成金・福祉の泉助成金**

(市社協補助金・共同募金・善意銀行等) 12,699 千円[11,437 千円]

身近な地域の支えあい活動や障がい当事者活動、住民主体の活動を推進するため「泉ふれあい助成金」及び「福祉の泉助成金」を通じた活動支援を行います。また、さまざまな団体が申請しやすいしくみを検討し、継続的な活動の支援とともに、助成金の新規活用を促進します。

	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込
助成団体数 (件)	167	144	129	150
*参加者数 (人)	28,263	34,285	52,551	55,000
*要援護者支援区分と障がい児者支援区分での申請団体数 (件)	110	91	64	75
*上記担い手数 (人)	1,195	838	709	750

\*評価指標 ふれあい助成金交付事業の参加者数：増加 (重点項目3-1)  
ふれあい助成金交付事業の交付団体数・担い手数：継続

### 重点項目3-3 つながる機会を作る

#### 《様々な人との交流の推進》

##### (1) 地域の中でより多くの人との交流を進める

(賛助会費) (共同募金) 41千円[40千円]

泉区には、ボランティア団体や福祉施設が数多くあり、活発に活動しています。これらの活動をきっかけに、地域交流の促進を目指します。

#### 【取組事項】

- ① 泉ふれあいシールラリーの共催 (共催：区、泉区障害福祉自立支援協議会)  
障がいのある人たちの活動場所に地域住民が足を運ぶきっかけとし、関係機関・団体と連携しながら、障がいの理解へつなげます。
- ② 若年層のボランティア活動の機会 (福祉イベント、共同募金街頭運動など) を提供
- ③ 介護フェア開催協力 (主催：泉区老人福祉施設長研究会)

##### (2) 福祉教育

(賛助会費) (市社協補助金) 196千円[139千円]

地区担当職員や地域の関係機関・団体と連携し、様々な対象に向けた福祉教育 (啓発) を行い、社会福祉への理解を促進します。

子どもの体験を通じた学びの機会が広がるよう、サマースクールの協力施設の拡充やプログラム内容の充実を図ります。また、区内の学校等に向け、福祉の授業実施のPRを行い、学びが深まる授業を共に検討していきます。

#### 【取組事項】

- ① 学校、企業、地域住民等を対象に、障がいや高齢者理解等の福祉教育 (啓発) を実施
- ② 小中高生対象の福祉体験学習「いずみサマースクール2023」の実施
- ③ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や学校長会での情報提供、福祉教育担当教諭の社会福祉への理解の促進等、学校との連携強化
- ④ 「福祉教育サポーター」(学校等での福祉教育研修・講座の支援ボランティア) の拡充・活動支援

	R2 実績	R3 実績	R4 見込	R5 見込
*福祉教育実施件数 (件)	4	3	20	25
*同 参加者数 (人)	562	469	1,385	1400
*サマースクール実施件数 (件)	9	中止	32	25
*同 参加者数 (人)	(※1) 21	中止	(※2) 103	100

※1 「ウィークエンドスクール」として秋の週末に実施

※2 「ボランティアスクール」として夏・秋の週末ともに実施

＊評価指標 福祉教育の実施件数・参加者数：増加  
サマースクール実施件数・参加者数：増加

## 《関係機関同士の連携強化》

### (1) 子どもの支援

(共同募金) 99 千円[43 千円]

子どもの健やかな育ちの支援として、子育て中の孤立感の解消などを目的に地域における子どもの居場所づくりや子育てを応援します。

#### 【取組事項】

#### ① 子育てネットワークへの参加

ア 泉区子育て支援連絡会・子育てサークルリーダー研修会・親子の居場所連絡会の事務局として、区、子育て支援拠点すきっぷとともに子育て中の親子支援の検討、研修会を実施します。

イ 地域ケアプラザエリアの子育てネットワークに参加し、エリア内の子育て課題の検討、支援を行います。

#### ② 子ども食堂や対象者を限定しないサロン等の居場所づくり支援

JA 横浜、セブンイレブン等の企業と連携した地域づくりを進めます。

#### ③ 区内関係機関との区内の子どもの状況についての情報共有

区やスクールソーシャルワーカー、その他子どもに関わる事業を展開する団体等と連携し、子どもの置かれている状況について情報共有を進めます。また、地域住民と協力しながら子どもの健やかな育ちを支援します。

#### ④ 泉区児童支援専任教諭・生徒指導専任教諭協議会や横浜市西部地域若者支援連絡会等と連携し、個々の課題をもつ子ども・若者支援の地域理解を推進

### (2) 地域ケアプラザ地域活動交流コーディネーターの支援

(市社協補助金) (共同募金) 87 千円[90 千円]

地域住民の福祉活動を支援する地域活動交流コーディネーターを支援するため、連絡会を開催し、研修会や勉強会等を行います。また、社会の状況に応じてオンラインでの会議・研修を取り入れます。

### (3) 泉区障害福祉自立支援協議会への参画

協議会や部会等に参加・協力を行い、障がいのある人やその家族を取り巻く現状について情報把握します。その情報を地区支援や区社協実施事業を進めながら、地域へ伝えていきます。また、地域の取組を協議会等でフィードバックします。

## 4 社会福祉協議会活動・法人運営

### (1) 「泉わくわくプラン」推進に向けた取組

(賛助会費) 10 千円[10 千円]

「泉わくわくプラン」が3年目を迎えます。中間期としてこれまでの取組を振り返るとともに、引き続き区との共同事務局により計画を推進します。また、子どもの頃から身近な地域に関心を持つことや地域活動の活性化、新たな担い手の発掘に向けて、子どもを対象としたモデル事業の実施を区と検討・推進します。

地区別計画は各地区の地域支援チームを中心とした関係機関と連携し、推進していきます。計画周知のために作成した区内 12 地区の地区別計画活動 PR 動画の周知と活用に取り組めます。

## (2) 社会福祉法人の支援

社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人が公益性、組織管理・財務規律の強化などが求められていることを踏まえ、本会会員である社会福祉法人・施設の取組を引き続き支援します。同時に、泉サポートプロジェクト等の実践を活用し、社会福祉法人の公益的な取組を支援します。

## (3) 公益性の高い社会福祉法人としての適切な組織運営

- ① 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催
- ② 各種部会、分科会の開催
- ③ 各種委員会の開催  
ア ボランティアセンター運営委員会 イ 広報編集委員会 ウ 助成金配分審査委員会
- ④ 計画的で透明性の高い業務執行、法律や規程に基づいた適切な事務・経理処理
- ⑤ 会員及び賛助会員の募集と会費の有効活用
- ⑥ B C P（災害時の業務継続計画）の適宜、見直し

## (4) たすけあい福祉資金給付

火災・風水害等を受けた罹災世帯に見舞金を交付します。

## (5) 行路病人への支援

行き倒れや行き場のない方への緊急措置として一時金を支給します。

## (6) 訪問理美容サービス事業

在宅の要介護者などに対して理美容師による出張サービスの受付と紹介をします。

## (7) 関係団体の事務局機能

地域で活動する各種福祉団体の事務局を担い、活動を支援します。また、各団体の活動を広報し、理解啓発に努めます。

### 【各団体の活動内容】

- ① 神奈川県共同募金会泉区支会  
赤い羽根共同募金・年末たすけあい募金運動を実施し、区内および県内の福祉施設や障がい者団体、ボランティア団体等の活動支援を行います。
- ② 日本赤十字社神奈川県支部泉区地区委員会  
日本赤十字会員増強運動、災害救護事業・災害救護に関する活動の推進、災害義援金の受付、地域福祉活動への助成を行います。
- ③ 泉保護司会  
犯罪予防活動や処遇活動の推進、各協力組織との連携や社会貢献活動への支援を行います。
- ④ 泉区更生保護女性会  
保護司と協力して「社会を明るくする運動」の推進、共同募金（街頭募金）への参加、研修会の開催、子育て支援などを行っています。
- ⑤ 泉区更生保護協会  
更生保護活動の周知・啓発や「社会を明るくする運動」の推進に伴う各事業を行います。
- ⑥ 泉区遺族会  
戦没者遺族の相互扶助および福祉増進に努めるとともに恒久平和に貢献します。